

Japanese: JP 09298621 A

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-298621

(43) 公開日 平成9年(1997)11月18日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	FI	技術表示箇所
H04N 1/00			H04N 1/00	F
B43L 1/04			B43L 1/04	D
				Z

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全4頁)

(21) 出願番号 特願平8-135992

(22) 出願日 平成8年(1996)5月2日

(71) 出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72) 発明者 原田 寿郎

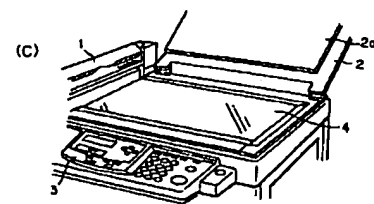
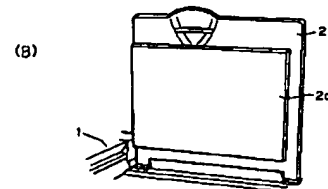
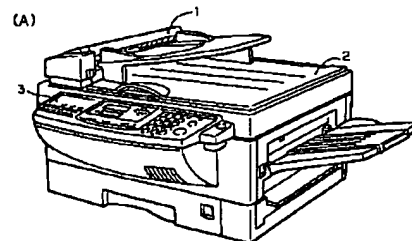
東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内

(54) 【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57) 【要約】

【課題】 白色の圧板にメッセージを書いてそのまま読み取らせ送信できるようにして、紙を必要とすることなく、ペーパーレスでメッセージを送信できるようにする。

【解決手段】 図1(B)に示したように、圧板2を持ち上げ、白色板2aに送信したいメッセージを書き込み、圧板2を図1(A)のように閉じる。次に、操作部3より送信したい宛先を入力又は指示し、操作部3上のスタートキーを押下する。スキャナ部4は、操作部3からの指示により、白色板2aに書かれたメッセージを読み込み送信を開始する。送信後、操作部3上の圧板解除ランプが点灯する。圧板解除ランプは、ユーザーに圧板2を持ち上げ、白色板2a上のメッセージを書き残さないように知らせる。メッセージ消去後圧板を閉じると、圧板解除ランプは消灯する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 裏面が白色で、かつ、ホワイトボードマーカで書き込み、消去ができる材質で構成された圧板と、該圧板の裏面に書かれた内容を読み取る読み取り手段を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 請求項1のファクシミリ装置において、自動原稿送り装置と、操作部からの指示により、前記白色の圧板に書かれた内容を1ページ目として送信し、前記自動原稿送り装置部にセットされた原稿を2ページ目以降として読み込む制御手段を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 請求項1のファクシミリ装置において、前記白色の圧板に書かれた内容を1回読み取り送信した否かを記憶する手段と、前記白色の圧板に書かれた内容が消されずに誤って送信されることを防止する制御手段とを備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置、より詳細には、ブック原稿等を押える圧板の裏面に手書きにて情報を書き込み、該情報を読み取って送信できるようにしたファクシミリ装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】ファクシミリで送信する際に、数ページに纏めた文書や、決められたフォーマットに記載されたものを送る場合と、ちょっとしたメッセージを送る場合がある。後者の場合、メモ用紙や不要の紙に手書き等でメッセージを記入して、それをファクシミリ送信し、送信が終了したらゴミ箱へ廃棄している。当然、1ページで用が足りることが多く、保存する場合は、極めてまれであるので、資源の無駄使いとなっている。

【0003】また、ファクシミリにて原稿を送信する際に、届けたい相手先のファクシミリのオペレータに、原稿そのものの届け先(担当者)へ届いたことを連絡して貰えるよう、あるいは、直接届けて頂くよう依頼する旨を書いたヘッダーを用意して使用している。この場合、このヘッダー用紙は原稿を送信するときのみ必要事項を記入し、送信終了するとゴミ箱へ捨てられることになる。従って、資源の無駄使いとなっている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述のように、従来のファクシミリ装置では、送信後は不要となるメモ程度の短い情報でも、1枚の原稿用紙に記載し、この原稿を読み取って送信しなければならず、これが用紙(資源)の無駄使いとなっていた。

【0005】本発明は、上述のごとき実情に鑑みてなされたもので、白色の圧板にメッセージを書いてそのまま読み取らせ送信できるようにして、紙を必要とすることなく、ペーパレスでメッセージを送信できるようにしたものである。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1の発明は、裏面が白色で、かつ、ホワイトボードマーカで書き込み、消去ができる材質で構成された圧板と、該圧板の裏面に書かれた内容を読み取る読み取り手段を備えていることを特徴とし、もって、ペーパレスメッセージを送信できるようにし、紙資源の無駄使いをなくすようにしたものである。

【0007】請求項2の発明は、請求項1のファクシミリ装置において、自動原稿送り装置と、操作部からの指示により、前記白色の圧板に書かれた内容を1ページ目として送信し、前記自動原稿送り装置部にセットされた原稿を2ページ目以降として読み込む制御手段を備えていることを特徴とし、もって、ヘッダーをペーパレスで送信できるようにし、紙資源の無駄使いをなくすようにしたものである。

【0008】請求項3の発明は、請求項1のファクシミリ装置において、前記白色の圧板に書かれた内容を1回読み取り送信した否かを記憶する手段と、前記白色の圧板に書かれた内容が消されずに誤って(原稿セットせずに宛先指定をしてスタート釦を押下したような場合)送信されることを防止する制御手段とを備えていることを特徴とし、もって、前の人がメッセージなり、ヘッダーの内容を消さずにおいた場合、次の人が誤って送信操作した場合に、再度メッセージが送信されて相手先に無駄な記録紙を消費させてしまうことのないよう、間違って送信操作された時に、無駄な送信、及び受信側での無駄な記録紙の消費をなくし、省資源化を可能としたものである。

## 【0009】

【発明の実施の形態】図1は、本発明によるファクシミリ装置の一実施例を説明するための図で、図1(A)は、ファクシミリ装置の全体構成を示す斜視図で、図中、1は自動原稿送り装置、2はブック原稿を押える圧板、3は操作部で、図示のように、本発明において使用するファクシミリ装置は、ブック原稿が読み取れる手段及び自動原稿送り装置を備えている。図1(B)は、圧板2を持ち上げた時の状態図であり、圧板2の裏にはメッセージを書き込むための白色板2aが取り付けられている。白色板の材質は、ホワイトボード等と同様であり、何回も消し書きできるようになっている。図1(C)は、白色板2aに書き込んだメッセージを読み込むためのスキャナ部4を示す。

【0010】図2は、本発明の動作説明をするためのフロー図で、図1(B)に示したように、圧板2を持ち上げ(S1)、白色板2aに送信したいメッセージを書き込み(S2)、該圧板2を、図1(A)に示すように閉じる(S3)。次に、操作部3より送信したい宛先を入力又は指示し(S4)、操作部3上のスタートキーを押下する(S5)。スキャナ部4は、操作部3からの指示

3

により、白色板2aに書かれたメッセージを読み込み送信を開始する(S6)。送信後、操作部3上の圧板解除ランプが点灯する(S7)。圧板解除ランプは、ユーザーに圧板2を持ち上げ、白色板2a上のメッセージを書き残さないように知らせる。メッセージ消去後圧板を閉じると、圧板解除ランプは消灯する。

【0011】図3は、自動原稿送り装置1に原稿をセットして送信する場合の説明をするためのフローチャートで、白色板2aにメッセージを書き込み閉じるまでの手順(S1~S3)は、図2と同様であり、その後、自動原稿送り装置1に原稿をセットし(S4)、操作部3より送信したい宛先を入力又は指示し(S5)、操作部3上のスタートキーを押下する(S6)。スキャナ部4は、操作部3からの指示により、白色板2aに書かれたメッセージを1ページ目として読み込み(S7)、次に、自動原稿送り装置1にセットされた原稿が自動原稿送り装置1により搬送され、2ページ目以降として読み込みを開始する(S8)。セットされた原稿を読み込み完了後(S9)、送信を開始する(S10)。送信後、操作部3上の圧板解除ランプが点灯する(S11)。

【0012】

【発明の効果】請求項1の発明は、裏面が白色で、かつ、ホワイトボードマーカで書き込み、消去ができる材質で構成された圧板と、該圧板の裏面に書かれた内容を読み取る読み取り手段を備えているので、ペーパレスでメッセージを送信できる、紙資源の無駄使いをなくすことができる。

【0013】請求項2の発明は、請求項1のファクシ

4

リ装置において、自動原稿送り装置と、操作部からの指示により、前記白色の圧板に書かれた内容を1ページ目として送信し、前記自動原稿装置部にセットされた原稿を2ページ目以降として読み込むようにしたので、ヘッダーをペーパレスで送信でき、紙資源の無駄使いをなくすことができる。

【0014】請求項3の発明は、請求項1のファクシミリ装置において、前記白色の圧板に書かれた内容を1回読み取り送信した否かを記憶する手段と、前記白色の圧板に書かれた内容が消されずに誤って(原稿セットせずに宛先指定をしてスタート釦を押下したような場合)送信されることを防止する制御手段とを備えているので、前の人々がメッセージなり、ヘッダーの内容を消さずにおいた場合、次の人が誤って送信操作した場合に、再度メッセージが送信されて相手先に無駄な記録紙を消費させてしまうが本発明によると、間違えて送信操作された時に、無駄な送信、そして、受信側に無駄な記録紙の消費をさせず、省資源化が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明によるファクシミリ装置の一例を説明するための全体斜視図及び要部斜視図である。

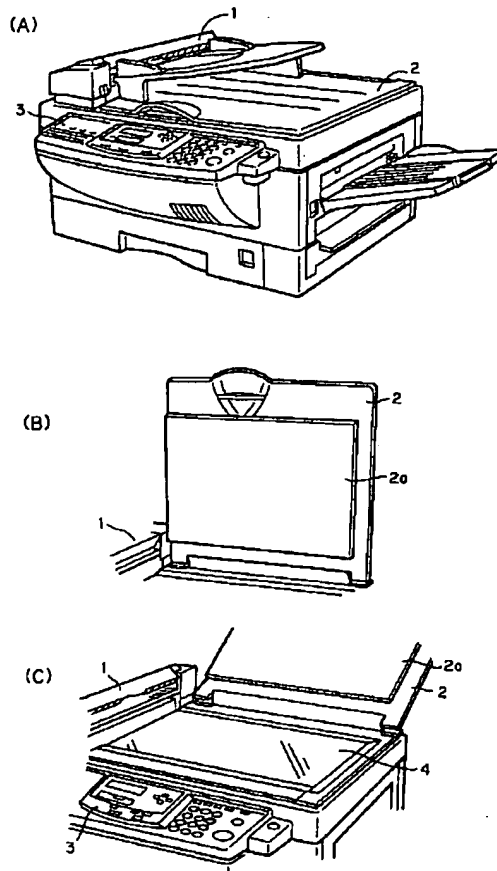
【図2】 本発明の動作説明をするためのフローチャートである。

【図3】 本発明の他の実施例を説明するためのフローチャートである。

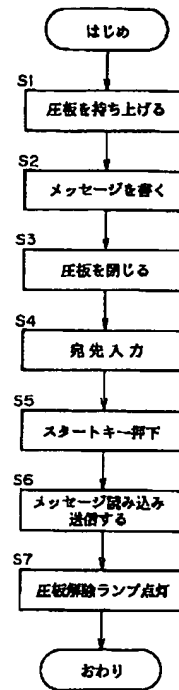
【符号の説明】

1…自動原稿送り装置、2…圧板、2a…白色板、3…操作部、4…スキャナ部。

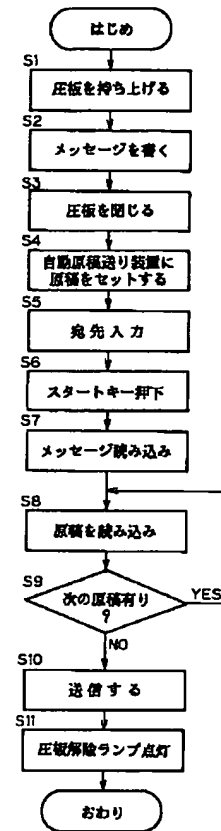
【図1】



【図2】



【図3】



DERWENT-ACC-NO: 1998-049336

DERWENT-WEEK: 199805

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Facsimile with provision for writing  
information on back side of platen - includes scanner that scans  
message written on white board attached to back side of  
platen, based on indication from operating unit

PRIORITY-DATA: 1996JP-0135992 (May 2, 1996)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES MAIN-IPC		
JP 09298621 A	November 18, 1997	N/A
004 H04N 001/00		

INT-CL (IPC): B43L001/04, H04N001/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 09298621A

BASIC-ABSTRACT:

The facsimile has a platen (2) to whose backside a white board (2a) is attached. A message is written on the white board by a felt board marker.

A scanner (4) reads the message written on the white board based on indication from an operating unit (3) and transmission of the message is initialised. After transmission of that message, the message written on the white board is erased.

ADVANTAGE - Avoids need for paper. Saves resources.

----- KWIC -----

Basic Abstract Text - ABTX (2):

A scanner (4) reads the message written on the white board based on indication from an operating unit (3) and transmission of the message is initialised. After transmission of that message, the message written on the white board is erased.

Title - TIX (1):

Facsimile with provision for writing information on back side of platen - includes scanner that scans message written on white board attached to back side of platen, based on indication from operating unit